

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 3 月 5 日 (2020.3.5)

【公表番号】特表 2019-503386 (P2019-503386A)

【公表日】平成 31 年 2 月 7 日 (2019.2.7)

【年通号数】公開・登録公報 2019-005

【出願番号】特願 2018-539087 (P2018-539087)

【国際特許分類】

A 6 1 K 45/06 (2006.01)

A 6 1 P 13/12 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 K 31/4406 (2006.01)

A 6 1 K 39/395 (2006.01)

C 0 7 K 16/28 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 45/06

A 6 1 P 13/12

A 6 1 P 43/00 1 1 1

A 6 1 P 43/00 1 2 1

A 6 1 P 35/00

A 6 1 K 31/4406

A 6 1 K 39/395 E

A 6 1 K 39/395 T

C 0 7 K 16/28 Z N A

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 1 月 21 日 (2020.1.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

必要とする個体において制御性 T 細胞を抑制する方法であって、クラス I ヒストンデアセチラーゼ (H D A C) 阻害剤を含む第 1 組成物およびプログラム細胞死タンパク質 1 (P D - 1) 阻害剤を含む第 2 組成物を前記個体に投与する工程を含む、方法。

【請求項 2】

前記クラス I H D A C 阻害剤が、エンチノスタット (ピリジン - 3 - イルメチル N - [[4 - [(2 - アミノフェニル) カルバモイル] フェニル] メチル] カルバメート)、ポリノスタット (N - ヒドロキシ - N' - フェニルオクタジアミド) およびトリコスタチン A (T S A) ((2 E , 4 E , 6 R) - 7 - [4 - (ジメチルアミノ) フェニル] - N - ヒドロキシ - 4 , 6 - ジメチル - 7 - オキソ - 2 , 4 - ヘプタジエンアミド)、ダシノスタット ((E) - 3 - (4 - ((2 - (1 H - インドール - 3 - イル) エチル) (2 - ヒドロキシエチル) アミノ) メチル) フェニル) - N - ヒドロキシアクリルアミド)、プチラート、バルプロ酸 (V P A)、ベリノスタット ((2 E) - N - ヒドロキシ - 3 - [3 - (フェニルスルファモイル) フェニル] プロパ - 2 - エナミド)、パノビノスタット ((2 E) - N - ヒドロキシ - 3 - [4 - ({ [2 - (2 - メチル - 1 H - インドー

ル - 3 - イル) エチル] アミノ } メチル) フェニル] アクリルアミド)、ピロキサミド、SK - 7041 (4 - (ジメチルアミノ) - N - [[4 - [(E) - 3 - (ヒドロキシアミノ) - 3 - オキソプロパ - 1 - エニル] フェニル] メチル] ベンズアミド)、SK - 7068 (N - [[4 - [3 - (ヒドロキシアミノ) - 3 - オキソプロパ - 1 - エニル] フェニル] メチル] - 4 - ピロリジン - 1 - イルベンズアミド)、トラボキシニン A (シクロ ((S) - ガンマ - オキソ - L - アルファ - アミノオキシランオクタノイル - L - フェニルアラニル - L - フェニルアラニル - D - 2 - ピペリジンカルボニル))、環状テトラペプチドヒドロキサム酸類似体 (CHAP)、デブデシン (4, 5 : 8, 9 - ジアンヒドロ - 1, 2, 6, 7, 11 - ペンタデオキシ - D - スレオ - D - イド - ウンデカ - 1, 6 - ジエニトール)、モセチノスタット (N - (2 - アミノフェニル) - 4 - [[(4 - ピリジン - 3 - イルピリミジン - 2 - イル) アミノ] メチル] ベンズアミド) およびそれらの組み合わせからなる群から選択される、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記第 1 組成物が、約 0.5 μ M ~ 約 2 μ M の前記クラス I HDAC 阻害剤を含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

前記クラス I HDAC 阻害剤がエンチノスタットである、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 5】

前記第 1 組成物が約 0.5 μ M のエンチノスタットを含む、請求項 4 に記載の方法。

【請求項 6】

前記 PD - 1 阻害剤が、ニボルマブ、ペンブロリズマブおよびそれらの組み合わせからなる群から選択される、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 7】

前記 PD - 1 阻害剤がニボルマブである、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 8】

前記第 2 組成物が約 1.0 μ M のニボルマブを含む、請求項 7 に記載の方法。

【請求項 9】

前記 PD - 1 阻害剤が注入により投与される、請求項 6 に記載の方法。

【請求項 10】

前記第 1 組成物および前記第 2 組成物のうちの少なくとも 1 つが、薬学的に許容される担体をさらに含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 11】

前記個体が腎細胞がんを有する、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 12】

前記エンチノスタットが 5 mg の用量で投与される、請求項 4 に記載の方法。

【請求項 13】

前記エンチノスタットが 1 週間に 1 回投与される、請求項 12 に記載の方法。

【請求項 14】

前記第 1 組成物および前記第 2 組成物が、異なる時間間隔で投与される、請求項 13 に記載の方法。

【請求項 15】

腎細胞がんを治療する方法であって、エンチノスタットを含む第 1 組成物およびプログラム細胞死タンパク質 1 (PD - 1) 阻害剤を含む第 2 組成物を投与する工程を含む、方法。

【請求項 16】

前記エンチノスタットが 5 mg の用量で投与される、請求項 15 に記載の方法。

【請求項 17】

前記エンチノスタットが 1 週間に 1 回投与される、請求項 16 に記載の方法。

【請求項 18】

前記第 1 組成物および前記第 2 組成物が異なる時間間隔で投与される、請求項 17 に記

載の方法。

【請求項 19】

前記 P D - 1 阻害剤が、ニボルマブ、ペンブロリズマブおよびそれらの組み合わせからなる群から選択される、請求項 18 に記載の方法。

【請求項 20】

前記 P D - 1 阻害剤が注入により投与される、請求項 19 に記載の方法。